（別記）

令和８年度白鷹町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

白鷹町は山形県の南部中央、置賜盆地の北端に位置し、町の中央を最上川が南北に流れ豊かな田園地帯が広がっている。総面積は１５７．７１ｋ㎡で、森林が約６５％、農地が約１３％を占めている。

白鷹町の農業は、水稲を基幹作物として、水田を活用した土地利用型作物、畜産、果樹、野菜、特用作物等を組み合わせた典型的な複合経営となっており、農家１戸当りの平均経営耕地面積は１．３２ｈａと規模が小さく、県平均の２．４７ｈａを大きく下回っている。現在、農業就業人口の減少及び高齢化に伴い、農業後継者に継承又は担い手に集積されない農地が増加傾向にあることが課題となっているが、特に、中山間地域の農地利用が大きな問題となっている。

このようなことから、各地域で作成された「地域計画」に基づき、新規就農支援や農地集積・集約等担い手育成に向けた取組を農業関係機関と連携し、産地体制の確立を図るとともに、水田のフル活用に向けて収益力を強化していくことで、農家所得の安定を目指していく必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当町では、小規模な圃場が多いことから、面積当たりの単収が高い高収益作物（園芸作物等）については、産地交付金などを活用し積極的に導入を推進する必要がある。高収益作物への転換に向けた取組方針については、関係機関と協議しながら検討していく。

輸出等の新たな市場の開拓に向けた取組については、集荷団体等の方針に沿いながら支援を実施していく。

水田からの転換作物等の導入の推進については、排水対策等が必要となるため、団地化や耕作条件の改善に向けて取組む。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

中心的な担い手が減少している状況の中、畑地化を含めた団地化に取組むことにより、作業効率の向上を図る必要がある。

水田の有効活用については、水田としての活用が可能な非主食用米（飼料用米、新市場開拓用米、ＷＣＳ用稲、加工用米、米粉用米）の作付けを推進する。また、将来的には労働生産性が高い子実用とうもろこし等の導入や省力的な管理が可能な作物等の導入を検討する。

水稲（水張り）を組入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか年１回確認を行っているが、現時点では適切な利用が図られている。引き続き、畑地化支援を活用した畑地化の検討を合わせて進めるが、中山間地域が非常に多くブロックローテーションが地域の実情にそぐわない地域であることから、農地維持の視点を含めた検討を関係機関、農業者とともに実施していく。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

今後の需要見通しが不透明な中、需給動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生

産を行う。また、つや姫や雪若丸等の特別栽培米の作付けにより他品種との差別化を行い、売れる米づくりに取組む。

（２）備蓄米

備蓄米生産については、方針が定まった場合、一括管理方式により主食用米と同様な品種、栽培方法で生産を行う。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

養豚農家への供給及び自家利用の推進により面積の拡大を図るとともに複数年契約による安定供給に取組む。

イ　米粉用米

実需者のニーズに応じた安定生産に取組む。

ウ　新市場開拓用米

新市場開拓用米の生産については、集荷団体等の方針に沿いながら、取組を検討する。また、生産性の向上を図るため、地力向上対策に取組む。

エ　WCS 用稲

耕畜連携を図りながら、畜産農家への高品質な飼料の安定供給に取組む。

オ　加工用米

実需者のニーズに応じた安定生産に取組む。生産性の向上を図るため、地力向上対策にも取組む。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦は取組無し。大豆についてはコスト削減を図るため、耕転・畝立て同時播種などの栽培を実施する。また、生産性向上を図るため、地域内における話し合いを進め団地化を推進する。飼料作物については、実需者との契約に基づき栽培を行い、品質・収益向上に取組む。

また、自給飼料の作付面積及び生産量の拡大を図るため、青刈りとうもろこし等の生産振興を図る。

（５）そば、なたね

そば及びなたねについて、地域の実需者との契約に基づいた栽培に取組む。また、現状の作付面積を維持しながら、明渠などの排水対策を推進し、品質及び収益向上に取組む。

（６）地力増進作物

えだまめ等の重点振興作物や畑作物作付予定圃場への地力増進作物（緑肥、牧草等）の作付及び適期すきこみにより、地力の増進を図り、連作障害の回避や水はけ改善、収量増加につなげる。

（７）高収益作物

ア　野菜

「えだまめ・アスパラガス・スイートコーン・トマト・きゅうり・キャベツ・たまねぎ」を振興作物として推進し、収益力向上に資する取組を進め、作付面積の拡大を図る。特にえだまめについては、「上杉豆」として置賜地域における産地化が進んでおり、ブランドとしての定着と長期出荷に向けた品種構成や生産体制の団地化整備を基本としながら、作付けの拡大と有利販売を推進する。

イ　花卉・花木

「デルフィニウム・トルコギキョウ・ダリア・紅花・啓翁桜・ユーカリ」については、振興作物に位置付け、出荷販売により収益力の高い品種の選定を行いながら、推進を図る。中でも、啓翁桜については、冬期間の振興作物として作付面積拡大を図り、農家収益力の向上に取組むとともに、紅花については、生産量日本一を継続していくためにも、作付面積及び生産量の拡大を図る。

ウ　果樹

「さくらんぼ、りんご、もも、洋なし、ぶどう」の果樹については、振興作物に位置付け、水田の有効活用として植栽から収穫できるまでの期間（４年間）に対して産地交付金を活用し、担い手の育成を図るとともに面積拡大へ向けた取組を実施し、収益力向上に取組む。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	741.4		763.0		717.1	
備蓄米	0.0		0.0		18.9	
飼料用米	2.6		2.6		11.5	
米粉用米	0.0		0.0		0.8	
新市場開拓用米	0.3		0.3		0.3	
WCS用稲	30.3		28.0		28.0	
加工用米	50.0		30.7		47.6	
麦	0.0		0.0		0.0	
大豆	46.0		40.4		40.4	
飼料作物	71.4	2.6	85.3	2.5	85.3	2.5
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0.0	
そば	53.1	4.9	76.5	3.2	76.5	3.2
なたね	0.0		1.0		1.0	
地力増進作物	0.0		0.0		5.0	
高収益作物	26.6		32.7		32.9	
・野菜	24.9		29.9		29.9	
・えだまめ	22.2		26.6		26.6	
・アスパラガス	0.2		0.1		0.1	
・スイートコーン	0.6		0.9		0.9	
・トマト	0.1		0.1		0.1	
・きゅうり	0.2		0.1		0.1	
・キャベツ	1.6		2.1		2.1	
・たまねぎ	0.0		0.0		0.0	
・花き・花木	1.7		3.0		3.0	
・ダリア	0.3		0.4		0.4	
・啓翁桜	1.0		1.5		1.5	
・デルフィニウム	0.0		0.0		0.0	
・トルコギキョウ	0.0		0.1		0.1	
・紅花	0.0		0.1		0.1	
・ユーカリ	0.4		0.9		0.9	
・果樹	0.0		0.0		0.0	
・さくらんぼ	0.0		0.0		0.0	
・りんご	0.0		0.0		0.0	
・もも	0.0		0.0		0.0	
・西洋梨	0.0		0.0		0.0	
・ぶどう	0.0		0.0		0.0	
・その他の高収益作物	0.0		0.0		0.0	
その他	0.0		0.0		0.0	
畑地化	5.9		1.0		24.0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	えだまめ・アスパラガス・スイートコーン・トマト・きゅうり・キャベツ・たまねぎ・ダリア・啓翁桜・デルフィニウム・トルコギキョウ・紅花・ユーカリ・さくらんぼ・りんご・もも・西洋梨・ぶどう	重点振興作物助成	振興作物の作付面積（ha）	（７年度） 27.1	（８年度） 32.9
2	飼料用米の生産ほ場の稲わら	飼料用米生産ほ場のわら利用助成（耕畜連携）	飼料用米作付面積（ha） うちわら利用面積（ha）	（７年度） 2.6 2.2	（８年度） 11.5 2.0
3	飼料作物	飼料作物の資源循環利用助成（耕畜連携）	取組面積（ha） 収穫量（kg/10a）	（７年度） 13.3 1,750.0	（８年度） 19.3 1,600.0
4	ＷＣＳ用稲	ＷＣＳ用稲生産ほ場の地力向上助成	取組面積（ha） 収穫量（kg/10a）	（７年度） 28.4 2,817.8	（８年度） 28.0 3,600.0
5	飼料作物・そば	二毛作助成	取組面積（ha） 戦略作物作付面積（ha：加工用米除く） 内二毛作に取り組んでいる割合（%）	（７年度） 7.6 203.7 3.7	（８年度） 5.7 200.0 2.8
6	そば	そば生産性向上助成	基幹取組面積（ha） 二毛取組面積（ha） 単収（kg/10a）	（７年度） 45.1 4.9 25.0	（８年度） 73.3 3.2 22.0
7	米粉用米	米粉用米の作付助成	作付面積（ha）	（７年度） 0.0	（８年度） 0.8
8	そば・なたね	【国枠】そば・なたね作付助成	そばの取組面積（ha） なたねの取組面積（ha）	（７年度） 45.1 0.0	（８年度） 73.3 1.0
9	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用米取組助成	新市場開拓用米取組面積（ha）	（７年度） 0.0	（８年度） 0.3
10	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用米の複数年契約加算	複数年契約取組面積（ha） 数量（t）	（７年度） － －	（８年度） 0.3 19.7
11	地力増進作物	【国枠】地力増進作物作付助成	作付面積（ha）	（７年度） －	（８年度） 5.0

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：山形県

協議会名：白鷹町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	重点振興作物助成	1	24,000	個票1別紙のとおり	対象作物の作付面積に応じて支援
2	飼料用米生産ほ場のわら利用助成（耕畜連携）	3	3,000	飼料用米の生産ほ場の稲わら	飼料用米の生産ほ場の稲わらを畜産農家が利用すること
3	飼料作物の資源循環型利用助成（耕畜連携）	3	3,000	飼料作物	飼料作物の生産ほ場に堆肥散布（耕畜連携）を行うこと
4	WCS用稲生産ほ場の地力向上助成	1	7,000	WCS用稲	WCS用稲の生産ほ場に堆肥散布（耕畜連携）を行うこと
5	二毛作助成	2	3,000	そば、飼料作物（個票7別紙のとおり）	対象作物との二毛作の取組面積に応じて支援
6	そば生産性向上助成	1	0	そば	そばの作付面積（基幹作）に応じて支援
6	そば生産性向上助成（二毛作）	2	0	そば	そばの作付面積（二毛作）に応じて支援
7	米粉用米の作付助成	1	10,000	米粉用米	米粉用米の作付面積に応じて支援
8	【国枠】そば・なたね作付助成	1	20,000	そば・なたね	そば、なたねの作付面積に応じて支援
9	【国枠】新市場開拓用米取組助成	1	20,000	新市場開拓用米	新市場開拓用米の作付面積に応じて支援
10	【国枠】新市場開拓用米の複数年契約加算	1	10,000	新市場開拓用米	複数年契約（3年以上）に基づく新市場開拓用米の作付面積に応じて支援
11	【国枠】地力増進作物の作付助成	1	20,000	個票11別紙のとおり	対象作物となる地力増進作物の作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

【個票1　別紙】

重点振興作物助成対象作物

区分	番号	対象作物
野菜	1	えだまめ
	2	アスパラガス
	3	スイートコーン
	4	トマト
	5	きゅうり
	6	キャベツ
	7	たまねぎ
花き・花木	8	ダリア
	9	デルフィニウム
	10	トルコギキョウ
	11	紅花
	12	啓翁桜
	13	ユーカリ
果樹	14	さくらんぼ
	15	りんご
	16	もも
	17	西洋梨
	18	ぶどう

（個票5　別紙）

二毛作助成の対象となる飼料作物

作物名
青刈りとうもろこし
青刈りソルガム
テオシント
スーダングラス
青刈り麦（らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）
オーチャードグラス
チモシー
イタリアンライグラス
ペレニアルライグラス
ハイブリットライグラス
スムーズブロムグラス
トールフェスク
メドーフェスク
フェストロリウム
ケンタッキーブルーグラス
リードカナリーグラス
バヒアグラス
ギニアグラス
カラードギニアグラス
アルファルファ
オオクサキビ
アカクローバ
シロクローバ
アルサイククローバ
ガレガ
ローズグラス
パラグラス
パンゴラグラス
ネピアグラス
セタリア

（個票11　別紙）

支援対象作物

区分	番号	後作となる作物	支援対象となる 地力増進作物	地力増進を図るための取組
野菜	1	えだまめ	ソルガム ギニアグラス スーダングラス エン麦 ライムギ ヘアリーベッチ ハゼリソウ クロタラリア テフグラス ペルシアンクローバ クリムソンクローバ セスバニア	すきこみ
	2	アスパラガス		
	3	スイートコーン		
	4	トマト		
	5	きゅうり		
	6	キャベツ		
	7	たまねぎ		
	8	大豆		
	9	そば		
花き・花木	10	ダリア		
	11	デルフィニウム		
	12	トルコギキョウ		
	13	紅花		
	14	啓翁桜		
	15	ユーカリ		
果樹	16	さくらんぼ		
	17	りんご		
	18	もも		
	19	西洋梨		
	20	ぶどう		

（別表2） 飼料作物等の範囲

飼料用米
青刈りとうもろこし
青刈りソルガム
テオシント
スーダングラス
青刈り麦（らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）
青刈り大豆
子実用えん麦
青刈り稲
WCS用稲
わら専用稲
青刈りひえ
しこくびえ
オーチャードグラス
チモシー
イタリアンライグラス
ペレニアルライグラス
ハイブリットライグラス
スムーズブロムグラス
トールフェスク
メドーフェスク
フェストロリウム
ケンタッキーブルーグラス
リードカナリーグラス
バヒアグラス
ギニアグラス
カラードギニアグラス
アルファルファ
オオクサキビ
アカクローバ
シロクローバ
アルサイククローバ
ガレガ
ローズグラス
パラグラス
パンゴラグラス
ネピアグラス
セタリア
飼料用かぶ
飼料用ビート
飼料用しば

（注） 上記の粗飼料用作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛、馬、羊、山羊に供される場合に限ります。